



八王子市立四谷中学校
学 校 だ よ り
令和7年5月15日



<http://hachioji-school.ed.jp/yotyj/>

定期テストの意義

校 長 長 田 克

四谷中学校では、年間5回の定期テストを行っています。皆さんにとっては、定期的に訪れる何とも言えない嫌なものだと思います？定期テストは、各科目の学習が十分に身に付いているかどうか評価されます。

では、なぜ定期テストを行うのでしょうか。学習は本来、継続的に行うべきものです。そのため、特定期間に集中的に能力を測定するテストを行う意義はあるのでしょうか。毎週小テストを実施し、定期テストを廃止するなどの取り組みのほうが良いのではないかと、という意見もあります。

確かに、継続的な学習を求めている以上、テストも継続的に実施することには意義があります。ただ、継続的な小テストを実施するにせよ、定期テストを実施することにも意義があります。まず、定期テストの実施によって、計画的に学習する力が養われます。定期テストは年間行事予定や学年だよりを通して、実施日を事前にお知らせしています。従って、どの日にどの科目のテストが実施されるのかを意識しながら自分に合った計画を立てることができます。

また、前回の反省を生かし同じ失敗をしないように日程や時間を調整することもできます。計画を立てることは学習以外にも様々な場面であります。計画的な行動がとれないで失敗した経験もある人もいます。定期テストで学習計画を作ることは、様々な場面で生きていきます。計画を立てて行動することの大切さも定期テストで学んでほしいと思います。また、定期テストには、真の学力をとらえることができます。授業中や家庭学習ではできたのに、テストの時に間違えてしまった経験のある人も多いと思います。小テストのように範囲が狭いテストでは、短期記憶だけの情報さえあれば高得点をとることができます。しかし、より範囲の広い定期テストになると、短期記憶だけでは、とれる点数に限界があります。そのため、定期テストを実施し、中期や長期の記憶として定着しているかどうかを測定することができます。その結果を踏まえ、自らの学習姿勢を見直すことができます。「テストは、成績を付けるためのもの」と思われがちですが、学校での成績の付け方も、集団の中で何番目かで測る「相対評価」ではなく、学ぶべき内容から、どれだけ達成したかを測る「絶対評価」に変わっています。点数さえ上がればよしと考える勉強から、計画性をもって自分で決めたことを最後までやり遂げる力を付けてほしいと思います。

そして、教師にとっても定期テストは重要な意味があります。皆さんがどこまで理解しているか。この説明でよかったのか。この教材やこの資料でよかったのかなど授業の進め方についても改善できるのが定期テストなのです。両者にとってとても意味深いものなのです。

定期テストで納得する結果を得るために

「もっと早くやっておけばよかった…」このように後悔したことはありませんか？

定期テスト対策において、納得した結果が得られる人とそうでない人の違いは「行動の早さ」にあります。

行動の早い人が納得した結果が得られる理由

① 反復回数が増える

行動が早い人は、同じ範囲を何度も繰り返すことができます。例えば、英単語を覚える場合、テストの 1 週間前に始めた人 1 か月前から始めた人では、記憶の定着率が大きく異なります。また、数学の問題集も、1 回しか解けなかった人より、3 回解いた人の方が理解が深まり、点数が上がるのは当然です。

「ギリギリでも間に合う」と思っている人は、結局 1 回しか演習できずに終わるため、成績が伸びにくいのです。

② 余裕を持って応用力を養える

行動が遅い人は、試験前に詰め込むだけの勉強になりがちです。そうすると、インプット（知識を詰め込む）ばかりで、アウトプット（問題演習）が十分にできません。

一方、行動の早い人は、基本を早めに固めることで、応用問題にもじっくり取り組むことができます。「基礎をやったら終わり」ではなく、「応用問題に時間をかける」ことで、確実に実力をつけていくのです。

③ 失敗から学び、改善できる

行動の早い人は、一度失敗しても修正する時間があります。

例えば、テストの結果を見て「苦手分野が多くてまずい」と感じた場合、行動が遅い人は次のテストまでに改善する時間が取れず、また同じミスを繰り返してしまいます。

一方、行動が早い人は、早めに弱点を発見し、それを修正して本番までに仕上げることができます。「失敗→改善」のサイクルを何度も回せるため、着実に成績が向上するのです。

行動が遅いと後悔する理由

「やらなければいけないのは分かっている。でも、まだ時間があるから大丈夫…」

こう思って先延ばしにしてしまった結果、テスト直前になって焦ることはありませんか？いざ勉強を始めても「時間が足りない…！」と感じ、本来やるべきことが十分にできないままテストを迎える――。こうした状況に陥ってしまうのは、行動を後回しにしてしまうからです。

例えば、テストの 1 週間前になって「数学の問題集を終わらせなければ！」と慌てても、時間が足りずに解ききれない。受験生が過去問演習を後回しにした結果、本番で「もっと過去問を解いておけばよかった…」と後悔する。

こうした事態を防ぐためには、「今すぐ行動すること」が何よりも重要です。ぜひ、行動に移してみてください。

行動を早めるための 3 つのステップを 6 月号に掲載します。